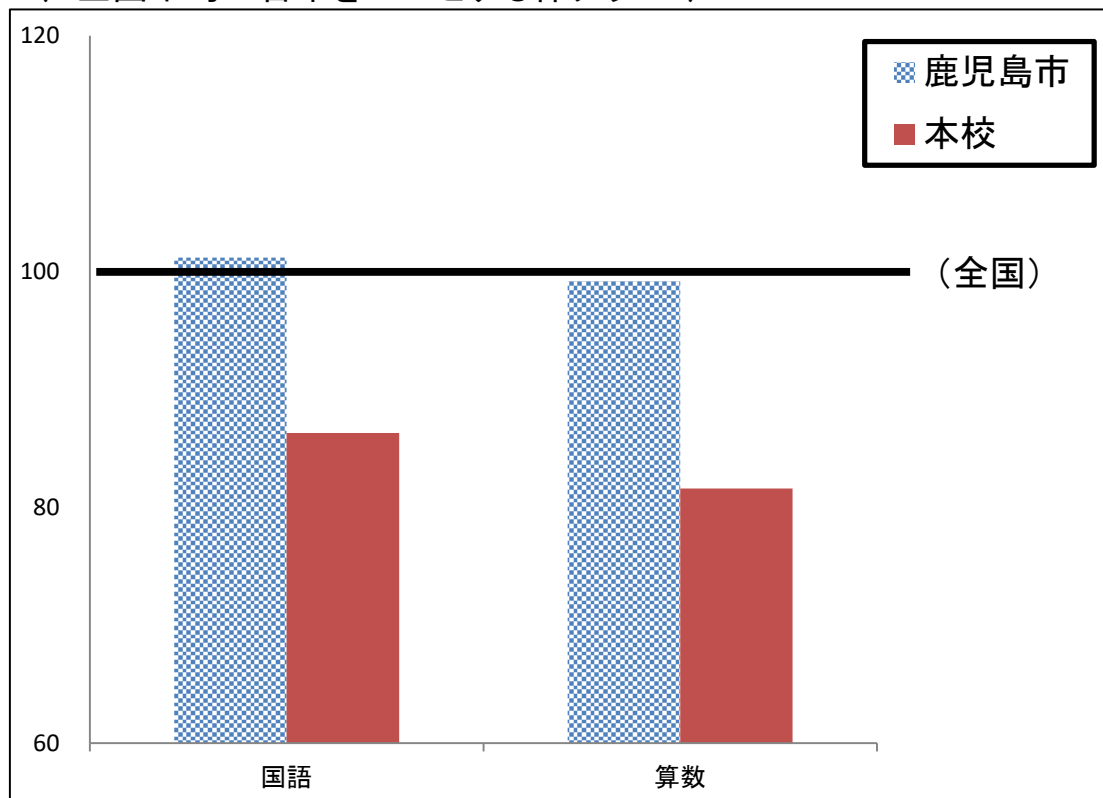


令和5年度全国学力・学習状況調査結果について
牟礼岡小学校

1 自校・市・全国の平均正答率の比較
〈 全国平均正答率を100とする棒グラフ 〉



2 自校の課題に対する改善策

●=現状及び課題 ☆=改善策

<国語>

●言葉の特徴や使い方に関する問題や、読むことの問題において県・全国との開きが見られました。情報の使い方に関する問題においては、県・全国との開きは見られませんでした。

☆情報を活用することができていることを生かし、漠然とした読みではなく目的意識をもった読み取りができるように指導します。何について読み取ればよいのかを示し、大切な箇所に下線を引きながら思考をまとめるように促していきます。

<算数>

●全ての領域において、県・全国の平均正答率を下回りました。特に、図形領域において、テープを切ったり紙を折ったりしたときの図形や角度を問う問題において最も大きな開きが見られました。

☆図形領域においては、具体物を用いた操作活動の充実を図ります。併せて、問題文や提示された図形に、わかっている数値を書き込んだり補助線を引いたりすることを習慣付けていきます。

☆小テストにより児童の理解を把握しながら授業を進めます。

<児童質問紙>

○「早寝・早起き・朝ごはん」に着目すると、以下のことがわかりました。

・決まった時間に就寝すること、また、起床することが県・全国より低い。
・朝ごはんについて、県・全国では食べないと回答する児童あったが、本校においては、毎日食べるが9割、どちらかといえば食べているを含めると100%である。

○「自分によいところがある」と回答した児童が県・全国よりも大幅に低いことがわかりました。

☆規則正しい生活習慣で活力を蓄えましょう。その活力を基盤として、「自分は役に立っている」「自分のことが好き」と思えるような活動や声掛けを学校と家庭が連携して行っていきましょう。